

地域連携NEWS



地方独立行政法人

東京都健康長寿医療センター

TOKYO METROPOLITAN GERIATRIC HOSPITAL AND INSTITUTE OF GERONTOLOGY

医療サービス推進課医療連携室
Vol.64 2016年9月発行

〒173-0015

東京都板橋区栄町35番2号

TEL03(3964)1141(代表)

FAX03(3964)1982(代表)

膠原病・リウマチ科のご紹介



膠原病・リウマチ科部長
杉原 毅彦

関節リウマチ、リウマチ性多発筋痛症、乾癬性関節炎、以下の指定難病—全身性エリテマトーデス、皮膚筋炎/多発性筋炎、全身性強皮症、混合性結合組織病、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、悪性関節リウマチ、結節性多発動脈炎、巨細胞性動脈炎、高安動脈炎、シェーグレン症候群、成人スチル病、ベーチェット病、強直性脊椎炎などの診療を行っています。

これらの疾患は様々な臓器に病変が出現しますので、当科ではリウマチ・膠原病疾患に関連する関節病変、血管病変、肺病変、腎病変、神経病変、心病変、消化器病変、皮膚病変の内科治療を行っています。

下記のような患者様を是非ともご紹介ください。膠原病患者さんは若い方が多いですので、年齢制限はありません。

関節痛が持続する、レイノー症状、顔面あるいは手指の皮疹。	抗 CCP 抗体陽性。
発熱が持続する。血液検査で炎症反応が持続している。	膠原病に伴う肺病変（間質性肺炎、胸膜炎など）。
両肩あるいは肩周囲の痛みが、同時期に急に出現。	膠原病に伴う腎病変（糸球体腎炎、間質性腎炎など）。
CPK 高値が持続している。	膠原病に伴う肺高血圧症。
不明熱、原因不明の CRP 高値が持続している。	膠原病に伴う末梢神経あるいは中枢神経病変。
抗核抗体が陽性、リウマトイド因子が陽性。	膠原病に伴う貧血、血小板減少、白血球減少。

不明熱、原因不明の CRP 高値への対応（一般内科の先生方へ）

発熱が持続するあるいは血液検査で炎症反応が持続する場合は、感染症や悪性腫瘍の鑑別診断を含めて、当科で迅速に入院対応いたしますので、医療連携室 03-3579-6963（直通、平日9時から17時）に連絡ください。

リウマチ専門医の先生方へ

外来あるいは入院で診療中のリウマチ・膠原病疾患の患者さんでお困りのことがありましたら、入院で対応いたしますので、医療連携室 03-3579-6963（直通、平日9時から17時）を介してご相談ください。各種臓器病変の精査、治療は当科主体で各診療科と連携しながら治療いたします。免疫抑制剤、生物学的製剤投与中に出現した感染症等にも対応いたします。

当科の主な業績

- 2011年から厚生労働省の関節リウマチ研究班に所属して研究活動を継続、関節リウマチに関する論文を複数発表。
- 2011年から厚生労働省の難治性血管炎に関する調査研究班に所属して研究活動を継続、血管炎に関する論文を複数発表、診療ガイドライン作成に関与。
- 2012年まで東京医科歯科大学膠原病・リウマチ内科で皮膚筋炎、多発性筋炎の研究を継続し、論文を複数発表。
- 2016年「今日の治療指針」でリウマチ性多発筋痛症担当。

～医療連携室直通電話のご案内～

医療連携室直通：03-3579-6963（平日9：00～17：00）
代表電話：03-3964-1141 内線1139～1142でも承ります。

医療連携室では直通電話番号をご用意しております。迅速な対応に努めておりますので是非ご利用下さい。

予約専用電話	検査予約	医療連携室
外来受診予約専用番号 03(3964)4890 対応時間 月～金 9:00～17:00 当センターは紹介予約制です。ご紹介の際は、紹介状とご予約をお願いいたします。	代表電話番号 03(3964)1141 対応時間 月～金 9:00～17:00 ◎CT、MRI、骨密度(内線2171) ◎RI(SPECT、PET検査)(内線2154) 検査科にてスムーズな予約対応を行っています。	医療連携についての問い合わせ 03(3964)1141 内線：1139～1142 医療連携室FAX番号 03(3964)1392 ホームページ： http://www.tmgig.jp/ （過去の地域連携NEWS、講演会のご案内、医療連携室のご案内はホームページでご覧いただけます。）

- 東武東上線「大山」駅下車
南口・北口より徒歩4分
- 都営地下鉄三田線「板橋区役所前」駅下車
A3出口より徒歩11分

お車で越しの方に駐車場（駐車料無料）も御用意しております。駐車台数に限りがあることを、予めご承知おきください。



化学療法科のご紹介



化学療法科部長
宮本 鋼

血液疾患に対して入院から外来へシームレスな治療を行っています

近年、有効性が高く毒性の低い抗腫瘍薬の開発および、支持療法の進化発展により、癌化学療法は長足の進歩を遂げています。これに伴い、これまで入院加療を必要としていた抗がん剤レジメンと同等あるいはそれ以上に有効性の高い外来化学療法レジメンや抗体療法（分子標的治療薬）が開発され、最近話題の免疫チェックポイント阻害薬なども多くの患者さまに施行されるようになってきました。一方、社会的要求として、患者さま側からみた場合には日常生活を可能とする通院治療は大きな患者利益につながり、医療機関側からみた場合には急性期病院において入院期間の短縮は避けられない命題でもあります。

このような医学的、社会的ニーズの高まりに答える事を目的として、当科は外来化学療法室の設置に伴い2009年に開設されました。

現時点において、化学療法科単独では悪性リンパ腫、骨髄腫を中心として年間に、のべ約2000人の方々に外来治療を行っています。前年より33%の増加でした。外来化学療法室全般としては中央共同利用施設として運営され各科の諸先生（呼吸器内科、膠原病・リウマチ科、血液内科、耳鼻咽喉科、外科、消化器内科、脳神経外科、泌尿器科）に幅広くご利用いただいております。

患者さまに安全かつ効果的な外来化学療法を提供する事を目的として、2階奥に5床の専用病床を有しております。写真のごとく、リクライニングベッドもしくは通常ベッドがご希望に応じてご利用いただけます。経験豊かな専任看護師が常駐しており、緊急時の対応に加え患者教育、情報提供などに努めています。

リスクマネジメントの観点からは、化学療法レジメンは全例登録制とされており、そのフォーマットは統一され、電子カルテ上で投与期間、間隔、投与量が管理されております。薬剤の混和はクリーンベンチにて専任薬剤師が行っており、トリプルチェック以上の対応となっています。

化学療法科単独での入院加療について延入院患者は年間約3000人であり、前年度より30%の増加を示しています。外来患者数の増加に加えこちらも着実な成長が見られました。

近隣の先生方におかれましては、がん患者、社会、地域医療がウイン、ウインの関係を築くキーワードの一つとして外来化学療法をとらえていただきご紹介下さい。（血液疾患以外の方は、まず、それぞれの専門科の受診をご指示ください。）

白血病、悪性リンパ腫、骨髄腫などの血液疾患全般について、緊急入院のご希望も含め随時拝見しておりますので、ご遠慮なくご紹介頂けましたら幸甚です。



連携医療機関のご紹介 斎藤医院



院長 齋藤 英治先生

当院は、城北学園 桜川小中学校 城北中央公園に隣接した桜川2丁目に、私の父が開業してからまもなく60周年となります。私自身が当院で働くようになって、17年になろうとしています。現在、私と1名のスタッフで、院内処方にて診療を行っている小さな診療所です。内科、小児科を標榜し、午前と午後の診療の間に在宅診療を行っています。

当院ではご高齢の患者さんも多く、お一人で複数の疾患を抱えてらっしゃる方も多々見受けられます。ゲートキーパー機能を果たし当院単独で対応が困難な場合には、それぞれの患者さんが適切な医療が受けられるように、他の医療機関と連携をとりながら診療をしております。その中でも、健康長寿医療センターは地域の方々からの信頼が厚く、多くの患者さんの入院や外来の受け入れをして頂いております。

かかりつけ医として、今後も地域に密着して、患者さん個々の状況に合わせ、また患者さんのご家族のご意向も十分に反映させた医療を目指していきたいと考えています。

【アクセス】 東武東上線 上板橋駅下車徒歩10分



斎藤医院

〒174-0075 板橋区桜川2-11-5
TEL : 03-3933-0386 FAX : 03-3933-0430

診療科：内科・小児科

休診日：日曜日・祭日・金曜午前・土曜日午後

診療時間：午前9時～12時 午後17時～19時

地域連携NEWS (Vol.63 2016年7月発行) 訂正について (お詫び)

先般皆さまへお送りしております「地域連携NEWS (Vol.63 2016年7月発行) 連携医療機関のご紹介」につきまして、記載内容の一部に誤りがございました。謹んでお詫び申し上げます。

堀井医院 〒173-0011 東京都板橋区双葉町40-13 電話：03-3961-2610

(正) 診療時間：月火木金 9時～13時 (受付12時30分まで) / 16時～19時 (受付18時45分まで)

土日 9時～13時 (受付12時30分まで)

(※平日、お忙しい方の為に当院では日曜日も診療いたします。ただし臨時休診がありますので、事前に問い合わせください。)